



神奈川県



施工直後



6カ月後

岩手県



施工直後 ※旧シードキャッチャー（樹脂ネットタイプ）を使用



2年後

宮城県



施工直後 ※旧シードキャッチャー（亀甲金網タイプ）を使用



6カ月後

自然侵入促進工

ニューレミフォレスト工法[®]



東興ジオテック
TakaMatsu Group

本社 / 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-12-7
TEL.03-3456-8761
<https://www.toko-geo.co.jp/>

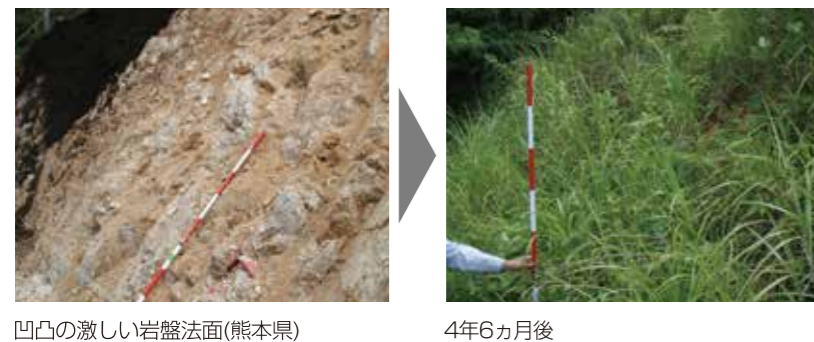


東興ジオテック
TakaMatsu Group

ニューレミフォレスト工法は、種子を配合していない高耐久性基盤と立体構造の種子定着促進ネット（シードキャッチャーV2）を組み合わせた自然侵入促進工です。

特長

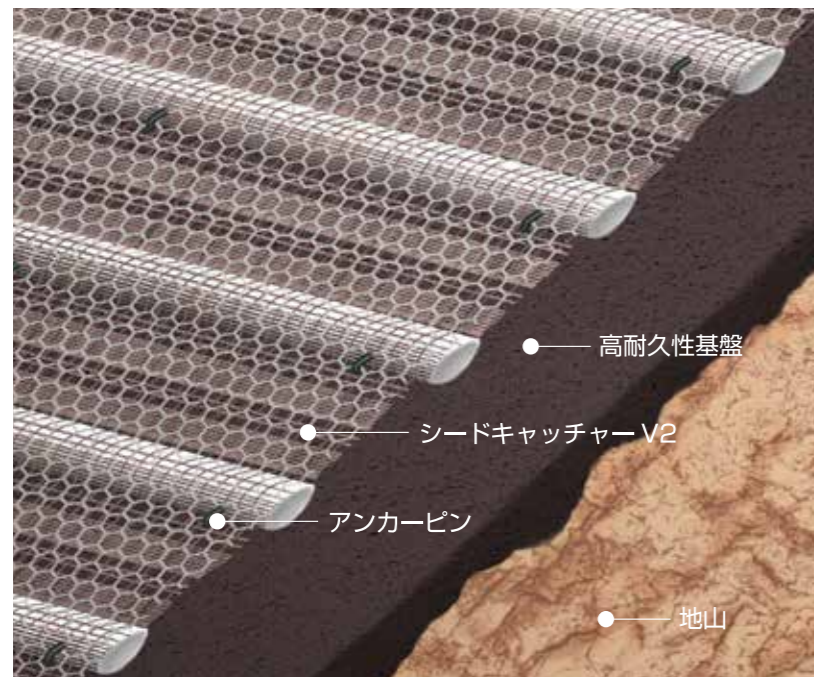
- ◆ 高耐久性基盤とシードキャッチャーV2の組み合わせにより凹凸の激しい岩盤法面にも適用可能
- ◆ 無植生状態でも耐侵食性を発揮する、保水性と保肥性に富む高耐久性基盤をラスなしで吹付造成
- ◆ その上に高耐久性基盤の2cm厚相当の保水性を有するシードキャッチャーV2を張り付け
- ◆ 立体構造のシードキャッチャーV2が飛来種子を効率よく捕捉
- ◆ 易分解性樹脂製のシードキャッチャーV2で自然環境に配慮
- ◆ 植物材料を使用しないので通年施工が可能



凹凸の激しい岩盤法面(熊本県)

4年6ヵ月後

施工概略図



施工手順



施工前



高耐久性基盤の吹付(ラスなし)



シードキャッチャーの展開



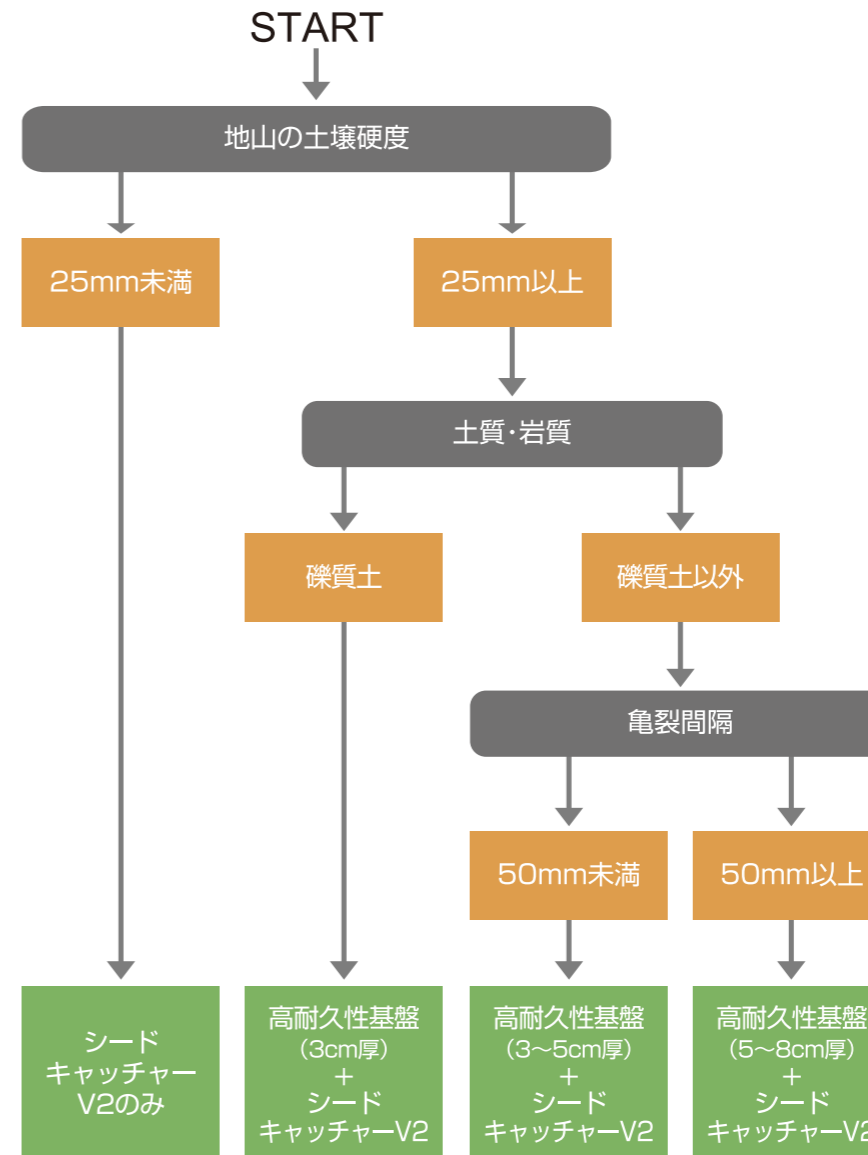
アンカーピンの打設



完成

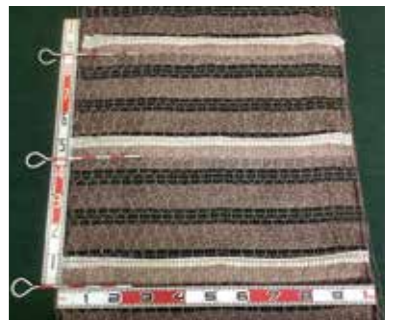
工法選定フロー

- ◆ 全面施工時は亀甲金網付きの「シードキャッチャーV2-A」を使用
- ◆ 法枠内施工時は亀甲金網なしの「シードキャッチャーV2-P」を使用



※シードキャッチャーV2には生育基盤2cm厚相当の保水性があるため、高耐久性基盤の吹付厚さは通常の植生工の設計で導かれる厚さから2cmを減じた厚さになります。

シードキャッチャー V2-A (亀甲金網付き)



シードキャッチャー V2-P (亀甲金網なし)



シードキャッチャー V2-A による種子の捕捉状況



使用材料

高耐久性基盤の標準配合

材料	規格	使用数量 (1m ² 当り)
生育基盤材	オルガソイル	2000ℓ
侵食防止材	レミコントロール	120kg
緩効性肥料	ハイコントロール650	7kg
配合水	用水	適量

全面施工時の標準仕様

材料	規格・寸法	使用数量 (100m ² 当り)
種子定着促進ネット	シードキャッチャー V2-A	110m ²
アンカーピン	φ9mm、L=200mm	545本

※法枠内に施工する場合は法枠の規格によって異なります。
※アンカーピンの規格・寸法と必要数量は、立地条件により変更する場合があります。